

法藏館書店ニュース 8月

目次

話題の本 P1
 法藏館新刊案内 P2~4
 法藏館刊行予定案内 P4~5
 法藏館書店新着案内 P5~15

特集1:「戦後80年」に思う…永遠の平和を願って! P16~17
 特集2:法藏館書店 2025年・上半期売上ベスト20 P18
 お知らせ P19
 法藏館書店ベスト10・
 メール配信サービスご案内 P20

★お知らせ★8、9月の書店休業日

8月のお休み:3日・10日・13日~16日(お盆休み)・17日・24日・29日(棚卸)・31日
 9月のお休み:7日・14日・21日・28日

話題の本

●佛教史学研究 第66巻 第2号(2025/7/17)

【大正大学総合仏教研究所叢書38】

『読んで観て聴く』

近代日本の仏教文化』

森 寛・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円

ISBN:978-4-8318-5584-8

●毎日新聞[夕刊](2025/7/14)

【法藏館文庫】

『増訂 京都地蔵盆の歴史』

村上紀夫・文庫判・304頁・1,320円

ISBN:978-4-8318-2701-2

●週刊読書人(2025/7/11)

●中外日報(2025/7/4)

●仏教タイムス(2025/7/3)

『統一教会・現役二世信者たちの声』

一壁の向こうの言葉を聴く』

瓜生 崇著・四六判・244頁・1,980円

ISBN:978-4-8318-5729-3

●図書新聞(2025/7/5)

『近現代日本における日蓮信仰』

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円

ISBN:978-4-8318-5583-1

●中外日報(2025/7/4)

『近代仏教儀礼論序説』

武井謙悟著・A5判・480頁・6,050円

ISBN:978-4-8318-5575-6

●中外日報(2025/6/30)

【法藏館文庫】

『道元禅師のことは「修証義」入門』

有福孝岳著・文庫判・275頁・1,210円

ISBN:978-4-8318-2693-0

●中部経済新聞(2025/6/28)

★各地方紙で掲載!

●山陽新聞[朝刊](2025/6/22)

●京都新聞[朝刊](2025/6/22)

『仁左衛門花実抄』

宮辻政夫著・四六判・240頁・2,750円

ISBN:978-4-8318-5657-9

●Penac(ペナック)』50号(2025/6/20)

【法藏館文庫】

『法城を護る人々 上・中・下』

松岡 譲著・文庫判・各2,200円

〈上〉野尻はるひ解説・528頁・ISBN:978-4-8318-2681-7

〈中〉真継伸彦・大澤絢子解説・464頁

ISBN:978-4-8318-2682-4

〈下〉半藤末利子解説・552頁・ISBN:978-4-8318-2683-1

春本龍彬先生……令和6年度 浄土宗学術賞 受賞!

祝
受賞!

『選択集の成立と展開』

一廬山寺本を中心に』

春本龍彬著・A5判・926頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6073-6

ためし読み



法蔵館文庫

◆女の方——古代の女性と仏教

【日本史／仏教／女性史】

西口順子著・文庫判・288頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2704-3

古代～中世日本において女性たちはいかに仏に心を寄せ、寺に詣で、僧を頼んで祈ったのか。女性と仏教のかかわりの歴史を丹念に解明。

■目次

序 女の生死

第一章 仏法と忌み

第二章 骨のゆくえ

第三章 山・里・女人

第四章 僧の「家」 ほか

ためし読み



◆語られた親鸞

【真宗／文学】

塩谷菊美著・文庫判・327頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2705-0

浄土真宗の祖・親鸞の伝記物語は、いかにして誕生し変容してきたのか。鎌倉時代から近代文学との関わりまで時代を追って読み解く。

■目次

はじめに——「お話」としての親鸞伝

第一章 物語型の教義書

第二章 「正しい解釈」の追求

第三章 物語不在の時代

第四章 真宗流メディアミックス ほか

ためし読み



◆承香殿の女御——復原された源氏物語の世界

【日本古代史】

角田文衛著、上原作和解説・文庫判・240頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-2706-7

一条天皇女御・左大臣顕光の娘、藤原元子。考古学・文献史学を駆使し、平安朝の栄華の影、その数寄な生涯を鮮やかに蘇らせた名著。

■目次

第一章 北の藤波

第二章 後宮の女人たち

第三章 父と母

第四章 元子入内

第五章 飛香舎と承香殿 ほか

ためし読み



◆増訂 日本占領と宗教改革

【宗教／戦後史】

岡崎匡史著・A5判・540頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5587-9

GHQ占領下、「国家神道」解体を目的に進められた宗教政策。その実態と顛末を、神道とキリスト教の相克を軸に壮大な視点で描き出す。

■目次

序 章

第1章 無条件降伏と米国の対日占領政策

第2章 「人間宣言」と「現御神」天皇論考

第3章 国家神道論—「神道指令」と「国体護持」—

第4章 占領・民主主義・キリスト教

終 章

ためし読み



◆比叡山延暦寺僧墓総覧 全3巻

【日本史／仏教】

小川善明著・B5判・1,228頁・93,500円・ISBN:978-4-8318-7793-2

比叡山2500基の僧墓を初調査！全墓碑銘の翻刻と写真、地図、各諸院の歴代住職一覧を付した、比叡山史の根本資料、待望の刊行！

■目次

【第一巻 東塔】

◆東塔

比叡山への道① 無動寺坂

比叡山への道② 本坂(東坂)

比叡山への道③ 雲母坂

【第二巻 西塔】

◆西塔

比叡山への道④ 松尾坂

比叡山への道⑤ 黒谷道

【第三巻 横川・坂本・京都五箇室門跡】 ほか

ためし読み



◆日本浄土思想の歴史

【浄土教／仏教】

——円仁・源信・法然・親鸞

四夷法顕著・四六判・182頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5590-9

日本文化に多大な影響を与えた浄土思想。その歴史上、特に重要な四人の祖師を通して、日本浄土思想の展開と歴史を学ぶための入門書。

■目次

第一講 浄土思想と阿弥陀仏について

第二講 円仁と比叡山における浄土思想の起こり

第三講 源信の『往生要集』と浄土思想の隆盛

第四講 法然による仏教の転換と思想構造

第五講 親鸞が「浄土真宗」という宗名に込めた意味

ほか

ためし読み



◆従容録に学ぶ——深く生きるための100の禅ものがたり【仏教／禅】

椎名宏雄著・四六判・432頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-5732-3

時代を超えて語り継がれてきた禅匠たちの自由かつ端的な100の禅体験を、わかりやすく読み下し、日常生活に即して説きあかす。

■目次

序文 石井修道

第一則 世尊陞座

～第一〇〇則 瑯琊山河

解説 五十嵐嗣郎

後記 椎名宏雄

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2025年9月 刊行予定〉

◆ひとりふたり・・——報恩講を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1176-9

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です！

◆催眠術の日本近代

法蔵館文庫

一柳廣孝著・文庫判・272頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2707-4

【文化史／近代】

〈宗教・科学〉と〈オカルト〉のはざまで、様々な主体を巻き込みながら明治日本を席卷した催眠術。知と欲望渦巻くその奔流から、明治日本の知られざる貌を描き出す。

◆真言密教の精髓

法蔵館文庫

那須政隆著、福田亮成解説・文庫判・224頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2708-1【仏教／真言宗】

伝統的な真言宗乗を深く体解した那須政隆。その一貫した学人かつ真言行者である姿が表われた三篇を文庫版として新編。

◆極楽浄土の起原——祖型としてのターク・イ・ブスターン洞

法蔵館文庫

杉山二郎著、入澤 崇解説・文庫判・296頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2709-8【仏教／美術史】

ササン朝の遺跡ターク・イ・ブスターン洞。沙漠の中の楽園泉地の浮彫に表されたモチーフを図像学、比較文明論の視点から考究して、地獄・極楽のイメージを探る。

◆蓮如教団論

金龍 静著・A5判・740頁・15,400円・ISBN:978-4-8318-7792-5

【日本史／真宗史】

蓮如から顕如までの各宗主の事跡を軸に、戦国期の本願寺教団の歴史を、組織や下付物などの視点も交えて多角的に描き出す。第一人者による長年の研究の集大成。

◆戦国末期三河・尾張の戦乱と水野信元

砂川 博著・A5判・392頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-7799-4

【戦国史／日本史】

徳川家康の実母・於大の兄、水野信元。限られた史料を駆使し、尾張・三河境界の複雑な軍事・政治情勢を俯瞰しつつ、その実像に迫る。戦国末期の歴史的空白に挑む。

◆インド仏教における「二つの真理」

——ジュニャーナガルバ著『二諦分別論』の和訳

【インド仏教】

赤羽 律著、西山 亮・林 玄海編・A5判・176頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-5735-4

真理は一つではなく、二つある——インド仏教の思想家たちが創り出したこの理論から導かれるのは何か。長年このテーマに従事してきた研究者の翻訳が詳しい注釈とともに完成。

◆続高僧伝とアジアの仏教文化

——名取新宮寺一切経本の調査から

【仏教／歴史】

齋藤賢寛・新宮寺本『続高僧伝』研究会編・四六判・364頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-5733-0

『続高僧伝』は6～7世紀の中国仏教の重要史料であり、日本仏教の祖師に関する記録も豊かに含む。新宮寺一切経本の調査を通して、一切経、仏教史研究に新局面を拓く。

◆ウェルディング(死への旅路)の臨床社会学

——生老病死と宗教

櫻井義秀・横山聖美編・A5判・352頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-5734-7

【宗教／社会】

人生の終わりを、どう迎えるのか？ 高齢多死社会を迎えた日本において、「よく生き、よく死ぬ」ことを支えるケアの実践と宗教の役割を、臨床社会学の視点から描き出す。

法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 8月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎巻頭インタビュー アキラ・ザ・ハスラー(アーティスト)
星って、みんな生きているから光っているんじゃないくて。
- ◎特集：ニッポンがしたこと——なぜ戦争はダメなのか
- 《新連載》後生の一大事を心にかけて／名倉幹
- 唯信鈔文意を読む——唯念仏のころ／山田恵文
- 出会いの真実——嘆仏偈を読む／宮下晴輝 ほか

◆大乘 8月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・DAIJO法話……中川大城
- ・ご機宜！お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました……前田純代
- ・お坊さん み跡をめぐる Part2
- ・なるほど仏教ライフ
- ・つながる医療と仏教 ほか

法蔵館書店新着案内

◆空海

安藤礼二著・A5判・558頁・4,950円〈講談社〉

日本思想史上最大のオリジネーター／スーパースター空海の生涯、その思想は、疑いもなく現在まで続く。いったい何者なのか!? 人間中心主義が限界に達し、世界の滅びが見え始めている。いまあらためて空海を読み直さねばならない。日本固有の宗教、文化、芸術表現の大いなる源泉。弘法大師空海の全貌がわかる記念碑的大著!

■目次

第一章	仮名	第五章	曼荼羅	第八章	平城
第二章	虚空	第六章	不空	第九章	高野
第三章	華嚴	第七章	最澄	第十章	天籟
第四章	真言				



◆超訳 真言

安平真琴著・四六判・175頁・1,540円〈彩図社〉

本書では、真言や密教について知るための初歩として、概要をできるだけわかりやすく説明しています。また、特徴として、古代インドの言葉が元になっている真言について、直訳とは別に「超訳」も載せています。真言の大まかな意味を知ることができれば、少なくとも「意味不明な呪文」ではなくなるでしょう。

■目次

第1章	真言ってどんな言葉?
第2章	予備知識と初めての真言
第3章	諸尊の真言とご利益
第4章	陀羅尼とさらなる修行



◆両界曼荼羅をつくる

田中公明著・B5判・110頁・3,300円〈中央公論美術出版〉

仏教の世界観を視覚的に表す曼荼羅。その中でも両界曼荼羅とは、真言密教でもっとも重要とされる二つの経典、「金剛頂経」と「大日経」に基づく、金剛界曼荼羅と胎藏界曼荼羅を併せた作品である。本書では数多くの作例を目の当たりにしてきた著者永年の曼荼羅研究の知見を基に、1200年伝えられてきた両界曼荼羅の正しい姿に迫る。

■目次

1.	両界曼荼羅の源流	
2.	従来の両界曼荼羅研究	
3.	『大日経』と胎藏曼荼羅	
4.	『金剛頂経』と金剛界曼荼羅	ほか



◆日本中世社会と仏師の動向

——定朝・運慶とその後継者たちを中心に

根立研介著・B5判・353頁・17,600円〈塙書房〉

近世初期を視野に入れながら、著者が中世と提示した平安時代半ば頃から室町時代に至る時期の京都と南都を中心に、王権とそれを取り巻く貴族、権門寺院の造仏に深く関わった三つの仏師流派の動向や、彼らが生み出した造形を論じたものである。

■目次

序章 日本彫刻史から中世を改めて考える：本書の目的と構成

第一部 定朝と後継者たちの動向

第二部 鎌倉時代前期の慶派仏師の動向

第三部 中世後期の仏師の動向



◆日本中世の宗教世界

阿部泰郎監修、佐藤愛弓・牧野淳司編・A5判・558頁・9,350円〈勉誠社〉

各地に伝存する多種多様な寺院資料を紐解き、また、文学・絵画・建造物・芸能といった諸メディアとの連環をとらえ、中世日本における豊饒な宗教的世界観を立体的かつ通史的に描き出す必読の書。学界を領導する18名の研究者による最先端の研究状況をまとめて一冊で知ることの出来る中世日本の社会・思想・文化を考えるための充実のレファレンスツール！

■目次

序論 本書の構成とみどころ 佐藤愛弓・牧野淳司

第Ⅰ部 中世宗教テキストの生成

第Ⅱ部 よみがえる中世の宗教世界 ほか



アジア遊学303

◆瓦から探る中世寺院

中世瓦研究会編・A5判・267頁・3,300円〈勉誠社〉

考古学における瓦研究の歴史は古く、日本への仏教伝来にともなつて飛鳥時代に建立された寺院で使用された瓦の研究に始まり、奈良時代の諸国国分寺や官衙の造営に使われた瓦などについての豊富な研究が蓄積されている。源頼朝が鎌倉時代初期に政権を築いた鎌倉の地に建立した永福寺の瓦を中心に、その形式・文様などから、生産・流通までを検証。

■目次

〔序文〕 中世寺院の造営と信仰をめぐる諸研究 小林康幸

〔総説〕 中世瓦を読み解く—永福寺式軒瓦を事例として— 小林康幸

第1部 永福寺式軒瓦の成立と展開

第2部 武士の寺院造営と信仰 ほか



◆全訳カマラシーラ 修習次第——初篇・中篇・後篇

一郷正道・小澤千晶・太田落子訳・A5判・351頁・8,580円〈起心書房〉

インド大乘の二大潮流・瑜伽行(唯識)派と中観派を統合した「瑜伽行中観派」の思想を背景に、当時を代表する学匠カマラシーラ(8c.)が「止」(精神集中)／「観」(真実の洞察)の瞑想次第を具体的に説いた名著を、最新の研究成果を踏まえて全訳。チベット仏教に大きな影響を与えた古典の全貌を提示する。この分野のベテラン研究者を訳者による、待望の一冊!

■目次

解題

『修習次第』初篇

『修習次第』中篇

『修習次第』後篇

付録

I.「三昧中の注意事項」テキスト対照

II. テキスト訂正表

III.引用経典一覧 ほか



◆インド大乘仏教その始原へ

——新訳・註般若波羅蜜心経(大本)

宮元啓一著・四六判・141頁・2,200円〈花伝社〉

大乘仏教の真髄を示す珠玉の経典『般若波羅蜜心経』。広く流通する玄奘訳の小本には欠けていた「序文」「帰敬文」等を持ち、これまで陽の目を浴びてこなかった「大本」をサンスクリット語から全文訳。

■目次

般若波羅蜜心経(大本)全訳

参考(一)般若波羅蜜心経(小本)全訳

参考(二)漢訳一覧(書き下し)

1 鳩摩羅什訳(小本)

2 玄奘訳(小本)

3 法月訳(大本)

4 般若など訳(大本)

5 智慧輪訳(大本)

ほか



ちくま学芸文庫ミ-11-2

◆インド哲学 七つの難問

宮元啓一著・文庫判・252頁・1,320円〈筑摩書房〉

西洋哲学における存在論・認識論・自我論・因果論などの議論展開も参照しながら、古典文献学・インド思想史の枠をこえてそれらの難問に接近する、野心的な試みである。ことば、存在、自己、名付け、因果、知識、無我——もっとも根源的な七つの問いを軸に、明快かつ刺激的な筆致に導かれつつ、インド哲学の深部に迫る一冊。

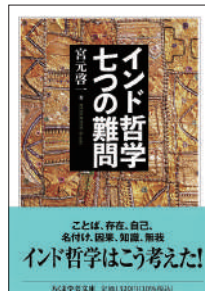
■目次

序 インド哲学は哲学である……

第一問 ことばには世界を創る力があるのか?

第二問 「有る」とは何か、「無い」とは何か?

第三問 本当の「自己」とは何か? ほか



講談社学術文庫2869

◆輪廻の思想

梶山雄一著・文庫判・275頁・1,430円〈講談社〉

「業報輪廻」の考えは、仏教思想の中心というよりも、東洋の宗教全体の大きな前提になっているという。紀元前後の数百年間の仏教の危機の時代を、「阿弥陀仏」という新たな信仰によって乗り切ったように、新たな神話を創生していく必要があるというのだ。仏教社会の倫理と道徳を支えてきた「輪廻の思想」をめぐる講演と随筆を集成。

■目次

- | | | | |
|---|------------------|---|-------------|
| 1 | 輪廻の思想——インド・中国・日本 | 3 | ブッダとイエス |
| 2 | 仏塔信仰と大乘仏教 | | 本願力ということ |
| | 菩薩の平和思想 | | 親鸞の仏陀観 |
| | | | 親鸞における信心の深化 |
- ほか



◆やさしいヴィパッサナー瞑想入門

アリンナ・ワイスマン・ジーン・スミス著、井上ウィマラ訳
四六判・279頁・2,970円〈春秋社〉

長年ヴィパッサナー瞑想を指導してきた西洋人女性による仏教瞑想入門書。仏法僧への帰依、八正道、慈悲など、仏教の基本的な教えを現代的なスタイルでわかりやすく説く。

■目次

- 第1章 変化の可能性——シンデレラ物語
第2章 瞑想——人生を変容させる道
第3章 瞑想や生活の中で出会う困難
第4章 二五〇〇年の旅路
- ほか



◆心とからだを調えるイス坐禅

横田南嶺著・A5判・90頁・1,650円〈インターブックス〉

毎回満員のイス坐禅の教室が本になりました。QRコードがついているので、スマホで簡単に映像と一緒に学べます。イス坐禅をおこなうと飛行機や新幹線での移動やオフィスでのパソコン作業が楽になります。10分のイス坐禅で日常生活の質が変わってきます。

■目次

- | | | | |
|-----|----------|------------|----------------|
| 第1章 | イス坐禅への道 | イスの選び方、坐り方 | イス坐禅の準備運動 |
| 第2章 | イス坐禅のやり方 | 1 | 肩と首の調整 |
| | | 2 | 足の裏、足で踏む感覚をつける |
- ほか



◆超訳 歎異抄 エssenシャル版

安永雄彦編訳・文庫判・237頁・1,485円〈ディスカヴァー・トゥエンティワン〉

元銀行員×コンサル×グロービス講師の、異色の僧侶が、現代のビジネスパーソンにもわかりやすく超訳!「歎異抄」とは?鎌倉時代後期に書かれた日本の仏教書。浄土真宗の僧侶である唯円が親鸞の教えを正しく伝えるために著したと言われている。その内容は人生哲学書としても読まれ、700年以上読み継がれてきた。日本の名だたる思想家・文学者も愛読した名著である。

■目次

- | | |
|------------------|----------------|
| I.ただ、ひたすらに信じる | IV.縁というもの |
| II.「悪」について | V.嘆かわしいこと |
| III.弱くていい、愚かでもいい | VI.すべてをゆだねる ほか |



◆ホトケ・ディクショナリー

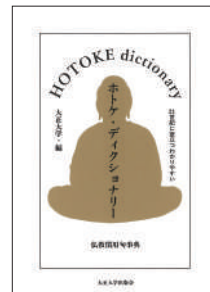
——21世紀に役立つわかりやすい仏教慣用句事典

大正大学編・A6判・191頁・1,100円〈大正大学出版会〉

「往生際が悪い」「堪忍袋の緒が切れる」「絶体絶命」「他力本願」……。仏教慣用句108項目をエッセイ風に紹介するとともに、出典などについて解説する。生活の中に溶け込む仏教思想と親しめる一冊。

■目次

あ行; 諦める(あきらめる)、阿弥陀籤(あみだくじ)、安心する(あんしんする) など
 か行; 加持祈禱(かじきとう)、我執が強い(がしゅうがつよい)、合掌する(がっしょうする) など
 さ行; 悟る(さとる)、触らぬ神に祟りなし(さわらぬかみにたたりなし) など
 た行; 大願成就(たいがんじょうじゅ)、退屈(たいくつ)、大師さま(だいしさま) など
 な行; 南無阿弥陀仏／南無妙法蓮華經(なむあみだぶつ／なむみょうほうれんげきょう) など ほか



◆カレー坊主が教えてくれたみんなの仏教入門

吉田武士著・四六判・191頁・1,650円〈白夜書房〉

「なんだか、心が落ち着かないなあ」と感じたら、カレー坊主の話聞いてみよう。ちょっとユニークな視点で語られる仏教の話で、心の空腹感はさっと解消されるはず——。「仏教なんて、よくわからないしな……」と思っている人でも、読後はちょっぴり仏教が身近に感じられるはずです。

■目次

- | | |
|-----|----------------------|
| 第一章 | それ、「心のハラペコ」かもしれません |
| 第二章 | なぜ、食べても食べても腹が減るのか? |
| 第三章 | 苦しみは、終わらせられる? |
| 第四章 | 心のハラペコを撃退! 究極のカレーレシピ |
| 最終章 | 心と世界を温める、あなたの一皿 |



◆人生というクソゲーを変えるための仏教

ネルケ無方著・四六判・281頁・2,200円〈春秋社〉

理屈っぽいドイツ人禅僧が、仏教は人生というクソゲーから降りて新しい何かを見いだそうとする営みであると定義し、原始仏教、大乘仏教、親鸞、道元と仏教の教えを辿ってそれを現代人に分かりやすく整理する異色の仏教入門書。

■目次

- 第一章 仏教とは、ゲームを降りること
- 第二章 ゲームの意味が分からない！
- 第三章 仏教という脱出ゲーム
- 第四章 なぜ自殺をしてはいけないのだろうか？
- 第五章 『蛇と梯子』と仏教の解脱 ほか



◆お寺に嫁いだ私がフェミニズムに出会って考えたこと

森山りんこ著・四六判・174頁・1,980円〈地平社〉

「お寺のおくさん」は献身して当たり前？ お坊さんと結婚して飛び込んだ仏教界は違和感だらけ。モヤモヤの日々に救いをくれたのは仏様よりもフェミニズムだった。日本のお寺の持続可能性を問いかける当事者エッセイ。

■目次

- 1章 私が「お寺のおくさん」になるまで
- 2章 「私」に帰る
- 3章 フェミニズムが教えてくれたこと
- 特別対談 仏教界のジェンダー平等とお寺のこれから 西永亜紀子 × 森山りんこ



◆ちょっと死について考えてみたら怖くなかった

村田ますみ著・四六判・195頁・1,760円〈ブックダム〉

「カラオケないけどカンオケあります」。終活スナック開業の背景から、理想の最期について考えるヒント、入棺体験を通じた「生まれ変わり」のプロセス、終活の実践的なアドバイスまでを、いずれ死を迎えるすべての世代に向けて語ります。死は恐れるものではなく、生き方を見つめ直すもの。あなたらしい生と死について考えてみませんか？

■目次

- 第1章 なぜ終活スナック？ めめんともり開業のルーツを辿る
- 第2章 あなたの理想の死は？
- 第3章 棺桶に入って生まれ変わる!?
- 第4章 自分らしい最期を大切に
- 第5章 多様な選択ができることで、死の捉え方が変わる ほか



◆絶望から一步踏み出すことば

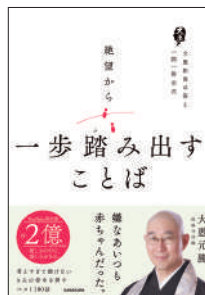
——大愚和尚の答え 一問一答公式

大愚元勝著・四六判・453頁・1,870円〈KADOKAWA〉

厳しさの中に、優しさがある。絶大な人気を誇る「大愚和尚の一問一答」のベスト100話が待望の書籍化。大愚和尚の教えを1冊に濃縮した、大ボリュームの決定版! 「つらい」「苦しい」と感じる人へ。悩みの出口は、ほんの五センチ横にあるかもしれません。勇気を出して、そこから一步を踏み出してみませんか。

■目次

- 第1章 停滞感を吹き飛ばせ
- 第2章 悩みと戦ってはいけない
- 第3章 ひたむきさが人生を変える
- 第4章 物事を成すには方法がある ほか



◆お金と宗教の歴史

大愚元勝著・A5判・351頁・2,200円〈東洋経済新報社〉

真実を知るためには、お金の流れを追うしかありません。なぜならお金の流れは、嘘をつかないからです。そしてそれは、現在の歴史においても変わりません。本書は、宗教、お金、戦、この3つの絡まりをほぐしながら、歴史を見ていきます。3つの絡まりをほぐすことができるのが、お釈迦様の教え=真実を見る目だと私は考えています。

■目次

- はじめに—お金の流れを追うと「真実」が見える
- 序章 人は太陽、火、そしてお金を崇めた
- 第1部 宗教とお金の誕生
- 第2部 ユダヤ教、キリスト教、イスラム教 ほか



◆仏陀経営

愛葉宣明著・四六判・223頁・1,650円〈白夜書房〉

仏陀の教えと実践を通して人生を経営していく方法を説きます。前半で仏教の世界観をもとに人生を見つめ直し、後半ではその知識をもとに日常生活にどう向きあっていけばいいか、さまざまなシーンを引き合いに仮説と検証をくり返ししながら考えていきます。

■目次

- 第1部 人生を変えるのに修行はいらない
- 第1章 人生は思いどおりにならない
- 第2章 人生に意味はない
- 第3章 人生をあきらめる
- 第2部 あなたはもっと報われていい ほか



◆三木清との哲学対話

——『人生論ノート』をもう一度

宮島光志・森下直貴・田中久文編・四六判・289頁・2,420円(花伝社)

80余年、読みつがれる名著『人生論ノート』。「死」「幸福」から説き起こし、「人間の条件」「嫉妬」「噂」をへて「希望」「旅」「個性」まで。人生を論じた本書には、どのようなメッセージがこめられているのか。本書に潜む不思議に光を当て、断章の余白を自在に埋めながら、三木清と人生を語り合う。

■目次

第1部 三木清『人生論ノート』の余白を埋める

はじめに 活動的哲学者の軌跡——『近代日本思想選 三木清』を読む

1 近くて遠い『人生論ノート』——五つの不思議

2 〈死者のリアリティ〉が思想の伝統を創出する ほか



◆宗教の言い分

——現代日本人の死生観を語る

島蘭 進・一条真也著・四六判・189頁・1,870円(弘文堂)

多死社会における宗教の意味を問う!

宗教学の重鎮・島蘭進と、儀礼の重要性を世に問い続ける作家・一条真也が、宗教の過去と現在、そして未来の可能性について熱く語る。

■目次

第1章 宗教の本質を語る

もし宗教がなかったら／言葉が宗教を生んだ?／生まれ変わり／出版と宗教の関係 ほか

第2章 宗教の役割を語る

コンパッションについて／宗教者の役割／古事記・論語・般若心経 ほか



インターナショナル新書157

◆ニッポン珍供養

鵜飼秀徳著・新書判・253頁・1,012円(集英社インターナショナル)

現在、人間の葬儀の簡素化が急速に進んでいる。一方で、犬や猫などのペットが手厚く葬られ、さらにはロボット、スマホなど命なきものが供養されている。この逆転現象は一体何なのか?現役の僧侶でジャーナリストの著者が、日本各地を取材し、私たち日本人の不思議な「弔う姿」を見つめる。

■目次

第1章 奇妙なモノ供養

第2章 動物を供養する

第3章 魚を供養する

第4章 昆虫を供養する

第5章 草木の供



真宗文庫

◆亡き方の声に耳を澄ませて

おほうさん
——僧侶30人のお盆のはなし

東本願寺出版編・文庫判・189頁・935円〈東本願寺出版〉

お墓参りやご法事をとおして、亡き人を近くを感じるお盆に聞きたい、30人の僧侶による短編法話集。

■目次

祖父の死…清澤 隆信
お参りされる姿をとおして…東 美恵子
水平にであう…澤面 宣了
＜心のふるさと＞に思いを馳せる時…丸田 善明
そっとしておける人…武田 定光 ほか



◆おうちで古文書学習——最速で身につく文字と知識

奥平 航著・A5判・175頁・1,980円〈柏書房〉

30数年にわたって古文書の世界に関わってきた著者が送る超入門書。漢字20個と部首10個だけにしぼって基礎をみっちり。すると、全く読めなかった古文書も不思議なくらい読めるようになっていく。戻って復習して何度でも寄り添う。これまでの学習法をくつがえす一書。

■目次

第1章 どの文字から覚えればいいの? 候・御・之・申
第2章 どの文字から覚えればいいの? 相・者
第3章 どの文字から覚えればいいの? 発見に挑戦してみよう!
第4章 どの文字から覚えればいいの? さらに知識を増やそう!
第5章 読めると便利このうえない漢字 所・有・間・其・趣・取・奉・無・可 ほか



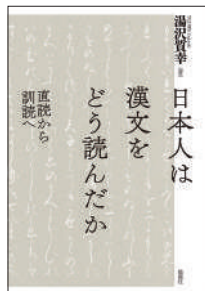
◆日本人は漢文をどう読んだか——直読から訓読へ

湯沢質幸著・四六判・220頁・3,520円〈勉誠社〉

古代から現代までの間に〈直読〉は消え、日本語で読む〈訓読〉がもっぱら使われるようになった。漢文を取り巻く環境を一つ一つ分析することを通して、〈直読〉から〈訓読〉への変化を追い、日本人の漢字漢文受容の歴史を描きだす。

■目次

第一章 直読と訓読—現代と平安時代—
第二章 平安時代儒学界の直読と訓読
—『宇津保物語』と『北山抄』『江家次第』—
第三章 〈直読から訓読へ〉—直読の衰退—
第四章 平安時代の訓読—『白氏文集』— ほか



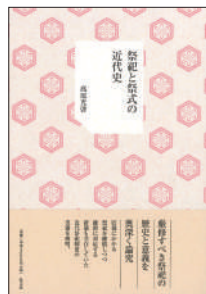
◆祭祀と祭式の近代史

高原光啓著・A5判・311頁・5,060円〈弘文堂〉

江戸時代までの旧儀にかかる祭祀を継続しながら、明治維新に対応する新儀も共存していた近代祭祀制度の実態を解明。神社にとって厳修すべき祭祀の歴史と意義を論究する。巻末に神社祭祀制度に関する事項を網羅した年表付き。

■目次

- 序章 祭祀・祭式研究の現状と課題
- 第一章 近世の神社と祭祀
- 第二章 式部寮達「神社祭式」の制定過程
- 第三章 例祭の成立と祭祀制度形成
- 第四章 祈年・新嘗祭の再興と背景
- 第五章 元始祭の成立過程 ほか



◆落語家新米住職のここにしかない“超絶”説法術——新寺建立ドキュメント

露の団姫著・四六判・220頁・1,980円〈興山舎〉

◆無駄骨を折る——今日を生きるための禪の言葉

横田南嶺著・四六判・231頁・1,870円〈草思社〉

◆近江の古代寺院と造営氏族

——発掘した遺構と軒瓦から謎を解く

小笠原好彦著・四六判・321頁・2,970円〈サンライズ出版〉



◆教化研究 第174号

教学研究所編・A5判・218頁・1,650円〈東本願寺出版〉

◆歓喜天信仰と俗信 第三版

笹間良彦著・四六判・188頁・2,200円〈雄山閣〉

◆2025年安居本講『顕浄土真実証文類』聞思

尾畑文正著・A5判・203頁・4,950円〈東本願寺出版〉

◆2025年安居次講『観無量寿経』序分聞記

鶴見 晃著・A5判・195頁・4,950円〈東本願寺出版〉

◆図解 眠れなくなるほど面白い歎異抄

山口謠司監修・A5判・127頁・1,089円〈日本文芸社〉



◆装束と武具の有識故実——肖像画を読む

近藤好和著・A5判・285頁・5,280円〈吉川弘文館〉



特集1 「戦後80年」に思う…

今年は戦後80年、昭和100年という節目です。誰もが戦争のない平和な日常を願っているはずですが、でも、世界に目を向けるとその願いは程遠いように思われてなりません。わが国では総人口の大部分が戦後生まれとなり戦争の記憶が風化していく中で、その体験をどのように継承していくかが課題となっています。戦争の悲惨さや平和の大切さを理解し、二度と戦争を繰り返さないようにと願うばかりです。

◆仏教者の戦争責任

法蔵館文庫

市川白弦著、石井公成解説・文庫判・320頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-2672-5 〈法蔵館〉

仏教者の戦争責任を粘り強く追及し続けた禅研究者・市川白弦の抵抗と挫折、煩悶と憤怒の記録が待望の文庫化！ 今なお多くの刺激と示唆に満ちた現代の仏法と王法考察の名著。



◆ラジオの戦争責任

法蔵館文庫

坂本慎一著・文庫判・272頁・990円
ISBN:978-4-8318-2636-7 〈法蔵館〉

戦前最強の「扇動者」、ラジオ。その歴史を五人の人物伝によってひもとき、国民が戦争を熱狂的に支持し、また玉音放送によって瞬刻間に終戦を受け入れるに至った「日本特有の事情」を炙り出す。



◆仏教の大東亜戦争 文春新書1365

鵜飼秀徳著・新書判・286頁・1,210円 〈文藝春秋〉

殺生を禁じるのが、本来の教えであるはずの仏教。それが国と一体となって戦争を推進した時代があった。多くの寺院、文化財を破壊した廃仏毀釈を追った『仏教抹殺』の著者が、昭和の戦争に至る、日本仏教界最大のタブーに挑む。

◆広島戦災児育成所と山下義信

—— 山下家文書を読む

新田光子著・A5判・256頁・3,080円
ISBN:978-4-8318-5566-4 〈法蔵館〉

原爆投下後の広島で戦災遺児を育て上げた山下義信(1894-1989)の生涯とその奮闘を、埋もれた資料から紹介して、知られざる戦後広島を歴史を浮かび上がらせる。



・永遠の平和を願って！

◆戦後日本の宗教者平和運動

大谷栄一編・四六判・358頁・3,960円〈ナカニシヤ出版〉

戦争責任、靖国、反核、世界平和。戦後日本の宗教界は、戦争協力への反省から、平和運動に活発に取り組んできた。その軌跡を辿り直し、戦後社会におけるその意義を問う。



◆宗教と非暴力平和構築

北島義信著・四六判・279頁・2,420円〈あけび書房〉

ウクライナ、パレスチナ・ガザ、ミャンマー……戦争が終わらない。どこを探しても、平和はない。倫理も法も、正義もない。まったく絶望である。しかし、と私に働きかけてくる声がある。`それでいいのか?。宗教ではこれを、〈霊性のはたらき〉という。待っていて与えられるものではなく、求めて獲得し、ことに立ち向かう力としてのそれ。『内心からの自主性を持った精神的推進力』である。宗教がどこまで可能なのかを問う類を見ない一書。

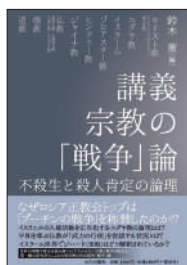


◆講義 宗教の「戦争」論

—— 不殺生と殺人肯定の論理

鈴木 董編・A5判・262頁・1,980円〈山川出版社〉

平和を尊ぶ仏教が戦争を容認する時と場合とは? コーランの「(不信仰者の)首を打ち切れ」はどう解釈されるのか……世界の宗教にはどのような「不殺生」についての「戒」や「倫理」があり、それが時と場合によりどのように「殺人肯定」「戦争容認」へと変化するのか。各宗教を第一線の研究者が論考する。



◆「戦争ごっこ」の近現代史

—— 児童文化と軍事思想

サビーネ・フリューシュ・トゥック著、中村江里・箕輪理美・嶽本新奈訳
四六判・340頁・5,280円〈人文書院〉

著者が提唱する「感情資本」とは、大人が子どもに対して持つべき感情とともに、子どもに帰属する感情のことであるが、このような「感情資本」は、日本の日清・日露の戦争勝利、太平洋戦争、連合国による日本占領、そして現代の世界的な平和創造へ決定的な役割を果たしてきた。絵本や地図、広告ポスターなどさまざまな図像を示しながら鋭く迫る。



特集2

法蔵館書店 2025年・上半期売行ベスト20



儀式作法の心得 新改訂版

真宗大谷派大阪教区出版会議編・A4判・36頁・440円〈真宗大谷派大阪教区〉

実際の儀式作法に必要なものに重点をおいて2019年に新改訂版として発行され、勤行・装束・出仕の作法とその他所作の項目でわかりやすく図説されていて、多くの方にお求めいただきました。



東西本願寺120のちがい

鎌田宗雲著・A5判・295頁・3,300円〈永田文昌堂〉

2025年2月の刊行から売れ続けてランクイン。
歴史的な視点も踏まえて、著者が知り得た東西本願寺のちがいがまとめられています。



人間はなぜ争うことをやめられないのか

一楽 真講述・A5判・89頁・250円〈真宗佛光寺派〉

今回もここ数年続いてのランクイン。不安な社会情勢にあって、今を生きる私たちにかけてられた阿弥陀仏の願いが語られ、わかりやすい内容となっています。



順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
4	真宗大谷派 儀式軌範	儀式指導研究所編	東本願寺出版	3,850円
5	法城を護る人々 上【法蔵館文庫】	松岡 譲著 野尻はるひ解説	法蔵館 8785	2,200円
6	仏教ゆかりの生きもの図鑑	福田 琢文 大島加奈子絵	東本願寺出版	1,210円
7	顕浄土真実教行証文類「証文類」講讀	梯 實圓	本願寺出版社	4,620円
8	死刑制度を問う—仏教・浄土真宗の視点から	大谷光真	春秋社	2,750円
9	法城を護る人々 中【法蔵館文庫】	松岡 譲著 真継伸彦・大澤絢子解説	法蔵館 2460	2,200円
10	真宗聖典(第二版)〈大判〉	聖教編集室編	東本願寺出版	4,950円
11	法城を護る人々 下【法蔵館文庫】	松岡 譲著 半藤末利子解説	法蔵館	2,200円
12	南無阿弥陀仏のこころ(下)—正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院 7781	550円
13	安心決定鈔(現代語訳)	浄土真宗本願寺派	本願寺出版社	1,540円
14	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法蔵館	2,860円
15	【帰京後の親鸞—明日にともしびを11】八十四歳の親鸞—『西方指南抄』	今井雅晴	自照社	1,100円
16	煩惱百八面相	梶 哲也著 今村風子絵	東本願寺出版	770円
17	『教行信証』全訳と註釈 上巻	長野野一	法蔵館	3,300円
18	曾我量深—生涯と思想	真宗大谷派 教学研究所編	東本願寺出版	1,980円
19	宗祖 親鸞聖人 御絵伝—真宗佛光寺派の伝承で見る	真宗佛光寺派御伝絵 御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵 御伝文研究会	330円
20	南無阿弥陀仏のこころ(上)—正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円

お知らせ

法蔵館書店
協賛・出店

2025年度 中外日報「宗教文化講座」

テーマ:「いのちを育てる智慧に学ぶ——ネット時代を生きるために」

第3回:9月19日(金)「しあわせ眼鏡—仏教という人生の道しるべ」

真言宗須磨寺派大本山須磨寺(神戸市)副住職・寺務長:小池陽人氏
(京都テルサ・東館2階セミナー室(地下鉄丸九線九条駅4番出口から西へ徒歩5分))

第4回:10月3日(金)「寺の未来」

臨済宗妙心寺派大本山妙心寺(京都市)管長:山川宗玄氏
(大本山妙心寺微妙殿(JR花園(京都府)駅[出口]徒歩12分))

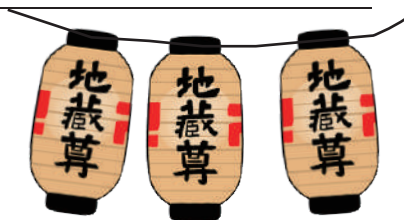
※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社 営業企画部(宗教文化講座事務局)

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004
京都府京都市南区東九条東山王町9番地
TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722
Eメール:sbk@chugainippoh.co.jp

「子どものための お盆、地蔵盆」



町角や路傍にたたずむお地蔵様は道祖神信仰にも
結びつきがあり、私たちの暮らしにもなじみ深い菩薩
様です。地蔵盆は子どもの守り神とされる地蔵菩薩をお祀りすることで、子どもの幸せや
健康を願う年中行事の一つとなっています。お地蔵様にお供え物を捧げ、みんなでゲーム
をしたりお菓子を食べたりして楽しく過ごします。地蔵盆は京都が発祥とされ、近畿地方を
中心に広まった行事です。北陸や信州の一部の地域でも盛んに行われています。

増訂 京都地蔵盆の歴史

法蔵館文庫

村上紀夫著・文庫判・304頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2701-2〈法蔵館〉

祇園祭などと並ぶ京都の夏の風物詩・地蔵盆。文献史料と実
地調査の成果を用いて、京都の人々でさえよく知らないその
歴史を丹念に紐解く。京都の都市文化をより深く知るための
一冊が、補章2本を加えた増訂版、文庫化して再登場。

ためし読み



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(7月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	統一教会・現役二世信者たちの声―壁の向こうの言葉を聴く	瓜生 崇	法藏館	1,980円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	東西本願寺120のちがひ	鎌田宗雲	永田文昌堂	3,300円
4	2025年安居本講『顕浄土真実証文類』聞思	尾畑文正	東本願寺出版	4,950円
5	顕浄土真実教行証文類 「証文類」講讀	梯 實圓	本願寺出版社	4,620円
6	現代語訳 六要鈔 【法藏館文庫】	柳瀬彰弘	法藏館	1,650円
7	亡き方の声に耳を澄ませて―僧侶30人の お彼岸のはなし【真宗文庫】	東本願寺出版編	東本願寺出版	935円
8	煩惱百八面相	梶 哲也著 今村風子絵	東本願寺出版	770円
9	南無阿弥陀仏のころこ(下)―正信偈にきく	廣瀬 惺	真宗大谷派 難波別院	550円
10	『教行信証』全訳と註釈 上巻	長野量一	法藏館	3,300円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

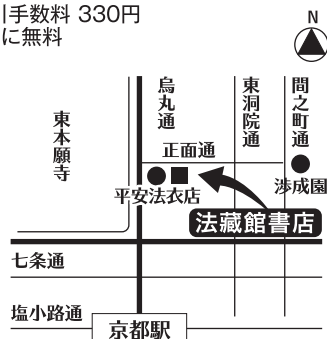
◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料―550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

電話受付時間変更のお知らせ

2025年9月1日より、お電話の受付時間を変更させていただきます。
ご不便をお掛け致しますが、ご了承賜りますようお願い致します。

9月1日～電話受付時間：平日9時～12時、13時～17時



法藏館書店

住 所：〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話：075-343-0458 FAX:075-371-0458
発行人：西村明高
E-mail:shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検 索



〔営業日および営業時間〕

月～土：9:30～18:00
祝 日：10:30～18:00
(休業日：毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!